

おりおしょうれん

折尾商連

(協同組合折尾商連)

福岡県北九州市八幡西区折尾

地域コミュニティのハブとして 連携事業を展開



取組の背景

発信力を強化するため 学生らと共同で広報活動

折尾地区では、鹿児島本線の連続立体化、JR折尾駅の新築などの総合整備事業が進行している。地区再開発に伴い、事業者の移転と集客力の停滞が見られる一方、新型コロナウイルス感染症の影響によりさらなる経済的打撃を被っている。

今年の祭事は「折尾まつり」をはじめ、多くの地域活性化イベントが中止となった。そうした中、予約販売を行った「プレミアム得々商品券」は、受付3日で完売するなど、地域住民からの折尾商業地区の事業再興への期

待は高いものがあった。

地元事業者・飲食店にとって「商品券」はポストコロナの集客のきっかけとはなったが、他方で、日常的なコロナ対策を定着させることでお客様に安心して来街いただける環境づくりを一層促進しなければならない。

そこで、商店街が長年に亘って培ってきた地域との絆や人のつながりを活かし、地域住民と高校や大学を繋ぐ地域のコミュニティのハブとして地域連携事業を展開した。中でも広報面では、「若者のまち」としての発信力を強化するため、学生と共同で新しいプロモーションコンテンツを制作し媒体の一新を図った。

取組の内容

地域住民参加型の事業で 商店街へのニーズに対応

新型コロナウイルス感染拡大による自粛生活が、地域住民や学生の日常にも大きな影響を与えている。人とのコミュニケーションや繋がりが持てず、孤独感に苛まれるなど社会問題となっている。

この社会問題に対して、これまでの地域・商学連携の経験を活かし、地域住民や学生などの商店街に対する期待やニーズに応えていく。そのために、感染症への対策を取りつつ、商店街と地域住民、学生が協働して、地域住民参加型の事業を行っている。

①ORI-NAVIの発刊(年4回発行)

折尾のタウン誌として、人・モノ・グルメ など折尾の地域情報を発信している。

②堀川いっせい清掃

感染症対策を施し、4大学4高校をはじめ、地元団体や社会人など252人が参加して約5kmを清掃した。

③オリオンピック(折尾駅周辺で実施するカヌーレースなどの楽しい競技)のZoom開催

新しい形のイベントにチャレンジしようと、今年5回目となるオリオンピックはウェブ会議ツールを使い、北九州市内か

ら11チームが参加して実施した。

④イルミネーション設置、点灯式イベント実施

折尾「学園大通り」「堀川飲食店街」の2か所で、冬季イルミネーションを設営。オープニングイベント(点灯式)も行い、世代を問わず、折尾のまち歩きを喚起した。

⑤製菓コースを有する地元高校と連携したスイーツ製作

2016年には、新名物「ビスコッティレガーロ」を開発し、廃棄ロスを意識して冷凍保存でき賞味期限を長くするなど、利益を意識した本格的な商品開発を商学連携で実施した。



学生達が伝統芸能リーフレット作成

取組の成果

商店街と学生とが連携し
各成果指標を集計・分析

商店街の事業運営・企画を行っている4つの委員会には、地元自治会や学生、高校の関係者などが適宜参加している。各成果指標については、情報共有を図りつつ、商店街と学生とが連携して、集計・分析を行っている。

実施したイベントのうち、初のオンライン開催となったオリオンピックは、Facebook等で多数の応援コメントを得るなど、盛り上がりを見せた。また、イルミネーション設置、点灯式イベントの参加者数は2019年500名、2020

年780名と1.5倍の伸びを見せるなど、地域の活性化に貢献している。



学生の参加でまち歩きプロモーション撮影

実施体制

商店街には、①販売促進委員会、②総務委員会、③おりおマップ委員会、④IT委員会(兼青年部)の4つの委員会を設置して事業の企画・運営を行っている。各委員会には、地元自治会や学生、高校の関係者などが適宜参加しており、各事業についての協力

を要請したり、プロジェクトチームなどの連携体制の構築を行っている。

折尾の目抜き通りである「学園大通り」の活用において、北九州市役所の協力を得て国家戦略特別地域としての認定を目指すなどの協力体制ができている。

キーパーソンからのコメント

学生達と協働してまちづくりに新風

商店街はまちづくりの担い手と考え、折尾まつりや新春賀詞交歓会など地域と連携し活動しています。その活動のなかで地元大学生の育成と連携を深めるため、2019年からは企画立案から加わってもらいチームリーダーを任せ、大人達と同じ扱いをしました。その結果、イベントを作る楽しさを知ってもらうことができ、2年目の昨年

となり、オンラインイベント「オリオンピック2020@zoom」を見事成し遂げてくださいました。これからも彼らや他大学とも連携を深め、活動していきたいと考えています。

卒業後、折尾での経験を元に地元に戻りまちづくり活動を通して地域に貢献したり、折尾に残って引き続きまちづくり活動をしたいと思ってもらえるとうれしいですね。



(協)折尾商連 専務理事 春木 聡

商店街の概要

1895年に2階建て駅舎が建設された折尾駅を中心に発展した協同組合折尾商連は、100年余りの歴史がある。昭和の発展とともに組織化され、折尾商連の前身「折尾商工連合会」(通称…折尾商連)が1951年頃に設立され、1986年10月に法人化され、現在の「協同組合折尾商連」となった。駅から面的に広がる商店街で、近隣には大学、高校が複数存在し学園都市とも呼ばれる地域である。商店街の顔である学園大通りは、毎日2,000名を超える学生や若者たちが行き交っている。

所在地 福岡県北九州市八幡西区折尾
人口 約25万人(八幡西区)
電話 093-691-1462
FAX 093-691-5678

URL <https://orionet.info/>
会員数 106名
店舗数 106店舗(小売業48店、飲食業12店、サービス業25店、金融業6店、不動産業5店、医療サービス業1店、その他9店)

商店街の類型 複合型
主な客層 主婦、学生・若者
／60歳代、20歳代